選手権における「撮影スタッフ」について

１　撮影スタッフとは

今大会は、原則として全試合、無観客試合となっています。そのため、多くのチームが、観戦できない方々のためにより良い記録を残そうとさまざまな対応をとっていると思います。しかし、チーム関係者だけではそういった部分にまで手が回らないという声も多くあり、チーム関係者以外にも、その協力を依頼することができるようにしたいと思います。

２　撮影スタッフを配置するための条件

（１）各チーム最大２名までとします。

（２）映像・写真撮影を目的とする場合に限り、会場内での活動を許可します。

（３）「健康チェックシート」（別紙）を使用して、試合２週間前から当日までの体調を管理していただきます。

（４）以下の①～③に該当する場合は、会場内に入ることはできません。チーム代表者は、「健康チェックシート」確認時に該当する人がいた場合は、すぐに帰宅させて下さい。

①　体調が良くない（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合） ②　同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる ③　過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

（５）「健康チェックシート」は、万が一感染が発生した場合に備え、１か月間は各チームが保存しておくようにして下さい。

（６）会場内では、「感染対策ルール」（別紙）を遵守していただきます。

（７）マスクを着用していない場合は入場できません。

（８）各チームが専用のビブスを用意し、活動時には必ず着用させて下さい。

（９）撮影場所については、会場校の指示に従い、会場運営の妨げにならないようにして下さい。

（１０）所属チームのベンチ内に入ることはできません。

（１１）試合終了後は、直ちに退場していただきます。

３　その他

（１）チーム関係者（メンバー外の部員・顧問など）による撮影は、従来通り人数の制限は設けていません。

（２）ベンチ内からの映像・写真撮影は、いかなる場合においても禁止されています。ご注意ください。

（３）撮影した映像は、「試合映像の撮影および配信について」（別紙）の規定に従い、各チームの責任において取り扱うようにして下さい。